



# 心ひとつに

美郷中学校  
学校報 NO.3  
R4. 4. 8

## 令和4年度 入学式①

7日(水)、令和4年度、美郷中学校第13期生の入学式が行われました。全国的・全県的に、そして、大仙保健所管内の感染者も高止まりしている状況の中で、歌を歌うことはできませんでしたが、無事に実施できてホッとしているところです。

137名の新入生を迎え、全校生徒405名で令和4年度、美郷中学校の新年度のスタートです！

入学式での「歓迎の言葉」を紹介します。

「歓迎の言葉」 3年 ○○○○さん

温かい春の日差しが降り注ぐ今日、第13期生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんの入学を心よりお祝します。

今、皆さんの胸の中には中学校生活への期待や不安があることと思います。ここにいる2・3年生も入学するときは同じような思いを抱いていましたが、先輩たちにいろいろなことを教えてもらったことで、不安がなくなり、中学校生活の楽しさをたくさん味わうことができました。

美郷中学校には全校生徒がよりよい生活をするために制定した「いじめゼロ六箇条」があります。これは生徒会が中心となって議論を重ね、自分たちの学校生活を向上させるために必要である、という思いを生徒自らが考え、形に表したものです。自分はもちろん、仲間を大切に、安全・安心な学校生活を送ることができるように、全校生徒一人一人が六箇条を意識して行動しています。1年生の皆さんの教室にも掲げられていますし、来週のガイダンスで内容を説明しますので、美郷中生の一員になった今日から意識してほしいと思います。

また、美郷中にはたくさんの行事があります。それらの行事のほとんどは生徒が企画・運営しています。コロナ禍でさまざまな制約がありますが、工夫をすることにより、新たな形で開催することができるようになりました。

一番大きな行事は一心祭です。昨年度は地域の皆様に感謝の気持ちを伝えるために、美郷ラブ・プロジェクトを立ち上げました。ペン立てやコースターなど生活に役立つ小物を全校生徒が協力し合って制作し、地域の皆さんにプレゼントしました。学校にお礼の手紙が届くなど、好評だったことがうかがえ、私たちも大変、元気づけられました。

一心祭と同じ日に行った合唱祭は、クラスが

一丸となり、美しいハーモニーを響かせました。自分たちで曲を選び、練習した日々を積み重ねることで団結力が高まります。本番のステージで合唱するときの緊張感は今でもよみがえってきます。

走る美郷を象徴するタイムトライアルや校内駅伝マラソン大会は、自分の体力はもちろん、心も鍛えるチャンスです。自分のために、仲間のために走る、たすきをリレーするという経験は、成長を強く実感できる機会でもあります。

さて、中学校生活に不安をもっている人がいるかも知れません。私は入学した頃、勉強に大きな不安がありました。中学校の勉強は難しく、テストも多くあります。また、小学校と違い、教科ごとに先生が替わります。私はわからないことを友だちや先生に質問することで解決を図るようにしました。その努力を積み重ねることで、最初の不安はなくなりました。また、小学校で取り組んでいる一人勉強ノートは中学校でも続けます。学習委員会が行うノートコンクールもあるので、これからも続けましょう。

次に中学校の部活動について紹介します。18の部活動と二つの季節部があります。小学校のスポ少活動との違いは、先輩との関わりが増え、互いに刺激し合う関係を築くことができることです。また、活動そのものの目標を自分たちで考え、達成に向けて部員一丸となり活動を組み立てていきます。その成果が全国・東北大会での活躍につながり、学校全体を元気づけています。部活動で経験したことは大きな財産になるので、皆さんも私たちと一緒にがんばりましょう。

今年度の最大行事は創立十周年記念式典です。皆さんは私たちが目指している、「気づき、考え、行動する美郷中生」の一員になります。11年目の節目、新たなスタート地点に立った私たちは新しいことにも挑戦しようとしています。一人一人が輝く美郷中学校をつくるためには、みなさんのアイデアや力が必要です。そして、地域の皆さんに元気や勇気を与える美郷中学校を私たちと一緒に作りましょう。

これからの学校生活で不安なことがあるかも知れません。そんなときは私たち2・3年生や先生方に声をかけてください。皆さんの力になります。安心してください。

皆さんと一緒にこれからの学校生活を送ることを楽しみにしています。今日入学した皆さんと共に新たな美郷中学校を築くことを誓い、お祝いの言葉とします。